

# 金融労連が定期全国大会と結成10周年のつどい 組織発展に展望をもって運動を！



〒520-0041  
滋賀県大津市浜町1-38  
滋賀銀行従業員組合  
TEL 077-521-2775  
FAX 077-525-5232  
Mail info@sbu-ffs.com  
URL http://sbu-ffs.com/

## 第11回定期全国大会

### 生活と雇用を守るために！ 明るく働きやすい職場に！

9月17日と18日の両日東京都内において、全国金融労働組合連合会（金融労連）第11回定期全国大会が開催されました。大会には、全国から代議員はじめ、オブザーバー、本部役員など101名（委任状5名含む）が出席し、当組からは中島委員長（金融労連中央執行委員長）、車谷副委員長（代議員）が参加しました。また、金融労連が発足して10年を迎えた大会初日の夜「金融労連結成10周年記念レセプション」が開催され谷特別執行委員が出席しました。

定期大会は、泉副委員長 流集会に参加して全国の仲間と挨拶で始められ、議長阿藤氏（八千代銀行 従組）、小西氏（しまね信金 労組）両代議員を選出し進められました。

はじめに中島委員長が挨拶を行い、全労連・小田川議長など、4人の来賓から連帯の挨拶を受けました。議案提案では、第1号議案「2016年度の活動総括」を田畑書記長、第2号議案「2017年度運動方針」を笹本書記次長、第3号議案「16年度決算・17年度予算」は千葉執行委員、第4号議案「今年度中央委員の定数など」を舟田執行委員が行いました。

### 女性や若者の交流 重要性が確認

討論では、17人の仲間から本部分針提案を支持・補強する発言がされました。本部の「女性のつどい」をきっかけに、単組でも女性ならではの悩みや不安・不満を話し合う女性の集まりを開催したことや、学習交



「未来への一歩」  
みなを前進を促し  
展望をもつ踏み出し

金融労連結成10周年記念レセプション誌に寄せられた中島委員長の挨拶。

地域金融機関の社会的責任を求めると、大義を持って単産の全信労・銀行労連・地銀連が統合し金融労連が結成されました。そして、今年で丸10年を迎えることができました。組合員みなさんとともにこの喜びを分かち合いたいと思います。

また、旧三単産の役員として合同準備委員をされた先輩のみなさん方におかれは、その思いが特に強いのではないのでしょうか。さらに、ここまで全労連をはじめとする諸団体ならびに関係者のみなさまにも

### 職場の声

#### 夜間の外訪活動は 自動車に限定

従業員組合は毎年8月に「期末期初の就労条件について」要求し、労働条件の改善を求めて交渉を行って来ます。9月5日に開催の団体交渉において要求書の6項目に対する回答に加えて、口頭にて「時間後の外訪活動は二輪車では行わない」旨の補足がありました。

従業員組合は「外訪活動は午後4時帰店」「外訪活動の交通事故、盗難、防犯対策」など要求を続けていますが、やむを得ず時間後に及ぶ場合の対策として、夜間の外訪活動が自動車に限定されたことにより、一定の防犯対策が強化されました。

今後、各店への適正配車や私有車の利用管理が求められると思われれます。



#### 人事制度・時間延長 合併再編問題で発言

人事制度改定や就業時間延長の提案、合併・再編問題など、職場を基礎に仲間の声・要求をとり上げてきたかつての発言が相次ぎました。

武生信金職組や渡島信金労組など、争議をたたかう仲間から支援要請も出されました。

#### みんなで支援しよう 沖縄・武生の闘い

参加された車谷さんから次のような報告と感想が寄せられました。

多大なるご支援・ご協力を賜りました。

金融労連10周年を支えて頂いた多くの方々に厚く御礼申し上げます。

一口に10年と言いましても悲喜こももいろいろなのがありました。各職場での奮闘に始まり、当局への要請行動や、あるいは裁判闘争に取り組まれたり、他にも学習活動などいろいろな運動を通じて、組合員一人ひとりが歩んでこられた積み重ねが金融労連の10年だと思えます。

しかし喜んでばかりもいられません。この10年は一つの節目であり、今後続く20年・30年でさらに大きく発展させる必要があります。

労働組合の組織率の低下が懸念されていますが、社会や時代が大きく変貌を遂げ続けている状況では、労働組合運動も核心部分はそのままに枝葉末節を変化させることは可能です。

肝心なことは、より多く



成10周年記念レセ

金融労連  
全国金融

# 日米合同演習反対 ふるさとを戦争に使わせない

9月11日、高島市今津町住吉公園において、「日米合同演習反対9・11あいは野集會」が開催され、県内外から780人が参加され、従業員組合からは先輩組合員を中心に11人が参加しました。

## 沖縄県選出参議院議員 伊波洋一氏が訴え

集會は、高島市あいは野演習場で12〜21日まで行われる日米合同演習に反対して、ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会の主催により行われました。



「自衛隊員を東洋の盾に」  
日米合同訓練の本質

日本共産党の宮本岳志衆院議員は「自衛隊員を『東定期大会は議長団を選出



洋の盾にする』そのための手ほどきをしようというのが日米合同訓練の本質。昨年の民家への着弾事件、危険な実弾射撃訓練はやめてくれが住民の願いではないか。南スーダンへの自衛隊員への派遣は自衛隊員が殺し殺される危険がある。自ら訴えました。

## 滋賀県労連第30回定期大会 つかみとろう！要求と組織の新たな前進、日本社会の未来 改憲と戦争する国づくりNO！憲法が花開く国へ 格差と貧困を是正し、暮らしの底上げ、地域活性化

9月3日、栗東市において滋賀県労連第30回定期大会が開催され、本部役員・代議員など60名が参加され、滋賀従組から小原特別執行委員（県労連幹事）と中島委員長（代議員）が出席しました。



し、瀧上正昭議長の開会挨拶に続き、玉木昌美氏（自由法曹団滋賀支部）と佐藤耕平氏（日本共産党滋賀県

## かつてなく広まった 戦争法廃止の運動

午後に行われた「経過報告」ではかつてなく広まった戦争法廃止の運動、労働法改悪反対、賃上げ、社会的賃金闘争、最賃引き上げの取り組みについて述べられました。

次に「新年度の方針」が提案がされました。方針では、引き続き運動を強め広める、そのために必要な学習、組織拡大について提案されました。

## あいは野集會成功を！ 11人が「幅広い議論」

討論は、9・11あいは野大集會、貧困を利用した徴兵制度の目論み、リーマンショック以降の派遣労働者の実態、最賃、子会社社移転と雇用問題、戦争法のたまたかの経験、国体をスリムな大会に、年金裁判の取り組み、学校の多国籍化の対応、社保庁解体で分限免職になった事件、庁舎建設問題の取り組み、早朝早出勤務に手当の要求のたたかい、参議院選挙と労働組合の立場、など11人の代議員から幅広い議論が交わされました。

年の取組で代表者が参加できるようなった報告と全国の金融機関で起こっている争議への支援要請を行いました。

討論を終え、すべての議案が可決決定され、幹事会からは「引き続きの運動を」と「まとめ」が述べられ、最後に、清水庄次副議長の団結ガンバローを行い閉会しました。

なお、争議の訴えは、JMITUのIBMロックアウト解雇、医労連・全医労からいきなりの雇止めを行った不当労働行為事件、同じく医労連から介護職場で窒息させたとして在宅起訴された裁判での無罪を求める要請書への協力の訴えがありました。

## 第62回 日本母親大会 いん石川・福井 さあ、憲法生かして行動！

8月20・21日、石川県金沢市と福井市に9300人がつどい第62回日本母親大会が開催され、滋賀従組の先輩組合員6名が天津と湖北から参加しました。

第1日は、教育、平和、原発など7つの問題別集會が開かれ、「くらし・社会保障」の参加者から「弱者の味方宇都宮さんのますますファンになりました」と。

第2日目は全体会が行われ、輪島・和太鼓でオープニングし、大会代表委員の笠井貴美代新婦人会長が主催者挨拶をされました。

記念講演は琉球新報社の島洋子さんが「憲法公布・女性参政権行使70年〜いのち輝く平和な沖縄・日本を〜」をテーマに講演され「いま日本の民主主義や地方政治が沖縄で試されている」と結ばれました。

## 武生のたたかいを支援しよう

武生信金の2人組合員に対する解雇撤回のたたかいは、7月11日の名古屋高裁・金沢支部での第1回控訴審において結審となり、判決が9月14日に出されました。

判決は、一審判決を踏襲した内部告発の利益性に触れない「不当判決」であり、原告である2人の組合員は直ちに最高裁へ上告しました。（写真上段は報告集會）

また、全労連第28回定期大会（7月28日〜30日）に



金融労連の代議員として参加していた中島委員長は、全国の仲間支援を要請し

ました。（写真下段右端）不当解雇を撤回させるため、ぜひ皆さんの「武生争議を支援する会」へのご加入をお願いいたします。個人会員は年会費千円です。



## 労働安全委員会の報告 争議への支援を要請

滋賀従組からは、労働安全委員会がなかったので長

